



あまいろだより

手づくり市民メディア

vol.52 市議になる。

2023.3.15

プロフィール

むらやま
村山 さおり さん
長浜市議。2022年7月、「こどもがまんなか」を掲げて出馬し当選。現在1期目。子ども食堂『こどもの居場所まんま』、『フードバンクながはま』などの地域活動にも携わる。5児の母。好きな食べ物は、チョコレート。



ふりかど だいすけ
振角 大祐 さん
米原市議。2021年10月、「こどもとともに豊かに暮らす米原へ」を掲げて出馬し当選。現在1期目。NPO法人・わかかのスタッフとして、米原駅前の古民家を活用した、大人と子どもの居場所づくりに携わる。3児の父。好きな食べ物は、カツカレー。



2023年4月 滋賀県の選挙予定

4月9日 投票日
滋賀県議選

4月23日 投票日
豊郷町長選
大津市議選
彦根市議選
近江八幡市議選
栗東市議選
日野町議選
豊郷町議補選

4月は全国で地方議員を選ぶ統一地方選があります。滋賀県では…

『夢みる小学校』びわこ一周上映リレー
宿題がない、テストがない、「先生」がいない、「きのくに」子どもの村学園に一年間密着したドキュメンタリー映画。子どもの育ちや学びの場づくりをみんなで考えたいと県内各地有志の上映会リレー。

▶ばらでいるフェス @彦根市スポーツ・文化交流センター
3/25(土) 9:00~上映会 & 座談会
12:30~ハンドボールを題材としたボール遊び体験
参加無料・要申し込み
お問い合わせ ばらでいる 公式LINE @680suxbu
s470430guts@gmail.com (原)

▶長浜上映会 @さざなみタウン
5/12(金) 10:00~、18:30~
5/13(土)10:00~
料金1000円(18才以上)当日参加可
お問い合わせ DREAM 長浜 cotton1024oyanokai@gmail.com
090-5132-8405 (藤田)

ジム初心者

お気に入りのマシン

ジムにはマッチョの人が多くいて、ちょっとこわい。

おぼちゃん率高め。そして、わりとおばちゃん率高め。

でも結局、マッチョとおばちゃん、優しい。

「夢みる小学校」予告編動画

何度洗ってもつかえるエコラップ Beeswax Wrap
ミツロウラップ 販売中 !!

オーガニックコットンの生地にミツロウ(たまばん@信楽のニホンミツバチのミツロウ、オーガニックミツロウ)とオーガニックココナッツオイルと松ヤニをいい塩梅にブレンドして、あまいろ探偵団が手づくりしています。
(監修 Biwabochi ちまり)

▶取扱店 Base For Rest (東近江)、自家製酵母パンひとつぶ(能登川)、NPO 碧いびわ湖(安土)、自然食品と生活用品の店 hana(草津)、cafe あわいさ(信楽)

▶発送ご希望の方は、あまいろだよりFB・インスタにメッセージにてお問い合わせください。(送料別途)

Sサイズ 13x13cm (半分に切ったリングなどに)
Mサイズ 20x20cm (お皿に残ったおかずなどに)
Lサイズ 26x26cm (サンドイッチやおにぎりなどに)
LLサイズ 28x40cm、36x36cm (キャベツ半分などに)

あまいろだより(天色便り)第52号 特集/市議になる。編集/あまいろ探偵団(北岡七夏・志堂未来・中野和子・藤井朋子・森優子)表紙タイトルロゴ/岸田知之 発行日/2023年3月15日 発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖 ~大切なことを他人まかせにしない。自分たちで力をあわせてつくる~ TEL 0748-46-4551 FAX -46-4550 Eメール info@aoibiwako.org ブログ http://aoibiwako.shiga-saku.net/ びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを使用しています(びわ湖の森の伐採材活用) **kikito**

市議になる。

日々の暮らしのなかで感じる困りごと
これってわたしだけなのかな
これってどうしたらいいのかな
そもそも誰に相談したらいいのかな

市民の声に寄り添って
暮らしと政治をつなぐ

市議会議員という
あらたな歩みを始めた
村山さおりさんと
振角大祐さんに
お話をうかがいました



あまいる(以下あ) お二人はもとも市民生活をされていて議員になられたと思うのですが、市議選に至ったきっかけと、これまでの経験を聞かせてください。



村山さおり(以下村) 一番下の子どもが中二なんですけど、その子がお腹にいる時に朝比奈さん(東近江市の助産師)と出会って、朝比奈さんのところで産ませてもらったんですけど、目から鱗のことがいっぱいあって。そこからちよつとずつ世界が広がっていきました。上の子を産んだ時が十九歳で最後が三十六歳と、ずっと子育てしてるんですけど、一人目の時は本当に産んで育ててくれて、辛かったという経験があったので、そういうところで何かできひんかなと思って。子育て支援の活動を同級生と始めたのが十年くらい前で、子ども食堂を地域のお母さんたちと始めたのが二〇一六年。二〇一八年にフードバンクながはまを立ち上げて。活動していくなかで知り合う方も増えていって。で、やっぱり言われるんですよ、選挙に出てほしいって。でも私はやりたいなんて全然思わなかったんで、本当に無理無理って言ってたんですけど、政治と自分の生活とは切っても切り離せないということを、原発のこととか知って

いくなかで思いついて。関心を持ってたり自分なりに調べたりしていくなかで、今回出てほしいって言われたときに、出るべきなんかなくて。皆さんの声を届けるために自分に与えられた役割なんかと思って。最後まで私を一人にしないよ、そばにいるよって言ってくれる仲間もいたので挑戦することにしました。



振角大祐(以下振) 僕は今中二の長女が四、五歳の頃に、自宅近くの会社に転職したんです。それまで始発で出て終電で帰ってくる日々だったのが、急に時間ができて全然してなかった家事とか育児をするようになった。土日子どもと遊べるようになったので、いろんな公園に行ったりしたんですけど、娘との時間が楽しめない時があって。なんでこんなもんもんとするんだろ?という時に、冒険遊び場をされる方の講演会があった。その活動の紹介を見た時にいいなって思ったんです。子どもが焚き火とかで遊んで、その横で親たちもしゃべったりして。子どもと一緒にいれて、子どもも楽しい僕も楽しい、それができると思って。二〇一四年から『近江母の郷』の横で、『わか』という名前でも冒険遊び場を始めたというの

が、市民活動の出だしの部分です。いろんな人が来てくれるようになってしゃべってみると、みんなそこそこしんどいやつていうのが分かってきて。そうしてるうちに、屋内に子どもたちの居場所を作ってほしいという声が出てきて、僕らも地域の空き家を使って活動されてる例を見ていいなと思ってたので、探したら借りれる古民家が見つかった。二〇一五年からは米原駅近くのその古民家をお借りして活動をしています。もともと議員に関心はあって、選挙のあった二〇二一年には、知り合いで選挙に詳しい方、議員としてどう思うかという話をいろいろ聞いてイメージさせてくれる人もいて、できるかなと思ったのがきっかけです。『わか』で繋がりができるのは少数だけど、そこは大事にしたいのでちゃんとしつと、議員はこの活動を通じてだけでは出会えない市民全体の暮らしまでできる、その両方をしなくて立候補しました。

選挙のあれこれ

あ 選挙はどうでした?

村 選挙が七月やったんで、五月いっぱい動め先を辞めてそこから始めたんですけど、遅すぎるって言われて。選挙なんて告示の時にもう結果はわかると言われる方もいました。私はぜんぜん分からんことだらけで、参謀ってなんのこと?っていう状態。とりあえず後援会を作らなアカンねんと思って、すごい良い方がおられたんでその方だけにはお願いして、後は本当に選挙経験ゼロの人だけ。最初の日ってポスター貼らないかんのやけど、そのための人手を割り振りしたら、日曜日やったからいまいち足りん部分があった、そこは私が助手席に乗って貼って回った。ごはん作ってくれはる人が日替わりでできて一緒にごはん食べて、今日はどこまわろう?ってやって。今は笑い話やけど、もうほんとに宿泊したいな感じで。選挙最終日も二十時まで選挙運動して、その後日付が変わるまではSNSなら選挙運動ができるから、事務所にしてた空き家になってる実家で見ながらずっとスマホ触って。私は固定票がないから最後までどうなるか分からんかったけど、いやー、楽しかったです。

あ 楽しそう!

村 なんか失礼な話ですけど、私落選しても悔しいかと思っただけで、でも私の仲間を介した人が「こんなにドキドキして選挙速報を見てたのは初めてや」とか、娘の友達も「初めて投票に行った」とか、そういう声を聞くとも少しも関心を持ってくれなかったこと。は良かったなって思っただけで、選挙速報も後色々なメッセージを仲間を通じて送ってもらおうと、やっぱり責任が重くなって思

ました。あ 選挙するのに費用もかかったんですよ。村 「選挙はすくお金がかかる、二〜三百万円はかかる」という声も聞いてたんですけど、実際は十万台でできたんです。選挙前に振角さんに「いくらくらい使った?」って聞いたら「僕三十万くらい使った」って教えてくれて、それくらいは出られるかなと思って。実際、看板も選挙カーの看板も全部手作り、仲間も一緒に手伝ってくれて、安くしたんです。お金がなくても出れるっていうのを知った人が次回以降出てくれたらいいなと思って。選挙カーも最初迷ったんですけど、長浜広すぎるしとりあえず今回は使ったんですけど。

あ 借りるんですか?

村 そうです。レンタカーとガソリンとポスターと選挙はがきは公費で出るんですけど、でもそこもやっぱり節約するようにしてかんと。税金なのでね。選挙カーの上に載せるやつは振角さんに借りました。選挙して出るだけでも書類が膨大で。申請も、会計報告も全部紙で。あ 一人ではできないですね。

振 選挙を経験して感じたことなんですけど、やっぱり自分の周りをまず泣き言の言える仲間と呼べる人で固めることをしたほうがいいかなと思って。村 そう、仲間大事やな。支えてくれて、なかか一緒に楽しんでくれる仲間。ああでもない、こうでもないって言いながら、不安やっただけで自分のやりたいようにやれたし。

振 議員になってからも、相談できる仲間がいると自信を持って判断できる。傷付いたときにもちゃんと伝えて、応援してくれている人と共有しとかなないと無理ですね。

議員になってみて

あ 問題点と感じていることはありますか?

振 私たち、市の職員さんたちと対立したいわけじゃなくて、一緒になってよくしていきたいって思ってるんですけど、相手も僕らがどういう人も知らないし。僕は市民活動をしてたので、職員さんのなかで何人かは知っててくれる人がいるんで、まだちよつとやりやすいんですけど。議会の一般質問とかもね、アラを探して批判したいわけじゃなくて、市のほうでもやりたいけどなかなか動かしてないところがあって、問題意識が同じな

らこれを機に市民にも知ってもらって、ちよつと前向きに進められる場にできたらいいなと都度お話ししてるんですけど、なかなか。まずなにより僕のことを知ってもらわないと、と思っています。

あ 議会の運営は同じような感じなんですか?

村 長浜は最初聞きたいことを通告書で担当の課に出すんですけど、議場で返ってきた答えに対して再問、再々問までできるんですよ。振 米原は質問の答えに関する内容であれば何回でもできます。

あ 返答は担当の課長とか議場にいる人がするんですか?

村 そうです。最初の質問で通告してあるから、当局側も膨大な資料とか準備して答える用意してるわけじゃないですか。ペテランの人に言わすとその返答に対して再問して詰めていくことが大事らしくて。でもそのときに相手の揚げ足を取るうとする議員さんがいいると、私らが何か聞こうと思つて窓口に行つた時に警戒しはるっていうか、そういうこと

とにつながらんかと思えます。私らは市の担当の方も動きやすいようにするにはどうしたらいいかな、一緒に考えたいなっていうスタンスでいるんですけど、ちよつと時間はかかるかな。

振 担当課の人としゃべっても、なかなか自身の思いを伝えることは、仕事上できないのかなと感じています。でもそのなかにも思いは絶対あるので、そういうところで「でも僕はこう思う」「だから何とか歩み寄りませんか、落とさずこころを作れませんか」ってこちらから言うことによつて一歩進もうか、みたいなことが起こればいいのかなと思っています。

市民と市議

あ 村山さんは市民に向けたお話をあちこちでされていますよね?

村 はい、困ったときにあの人に相談できると身近に思ってもらえるところがたいなと思うし、私も困りごとを聞けるのは学びになるし。保育園落ちたから何とかしてほしいとかゴミ袋が高すぎるとか言われると、それを担当の部署に聞きに行つて。自分がそこで学んで持ち帰ってその人に伝えることで、知識の共有ができて一緒に意識を高めていけるといいなって思っています。

あ 力点を置きたい政策などは?

村 長浜は子どもを産めるところが少なくて、民間のクリニック一軒と長浜赤十字病院だけ。でも産科を増やせば出生率が上がると思つていなくて、お母さん

たちがもう一人産みたいって思つてくれるようにしていかんかなって思つてます。東近江市にある共同助産所『お産子の家』みたいに、どんなお産になるとくださるところができるのがベストなんだけど。女性がなかなか声を上げられないところなので、女性が大事にされる長浜にしたいですね。もう一人産みたいけど諦めたっていう声をよく聞くんです。何か困つた時に助けてもらえるところがあるんだらうなと思って、やっぱり人と繋がることって大事やし一番の安心になるし、そういうのを発信していけたらいいと思います。

振 最近助産師さんの話を聞いて、出産した直後の女性はちゃんとケアされないといけない、でもそれってその人が弱いつてわけじゃなくてそういうもんだと。で、ちゃんとケアを受けたら元の暮らしに戻る。普通に暮らしてる人たちの中にもケアを必要とするしんどさがあるって、それぞれの困りごとを聞いていく人になりた

いなと思うし、それが少しでも解決するように動いていきたいです。村 でもほんとに話聞いただけでもありがたがってくれて、こちらこそありがたがってます。話すことで気持ちも楽になつて、言葉にすることで整理できて、対話ってほんま大事やなって思う。

あ 議員さん同士の関係は?

村 長浜は二十二議席中、九人が新人議員だったんです。やっぱりいるんなこと変えていきたいなあって話してます。女性議員もいるし。同じ会派やから同じ意見じゃないといけないというわけじゃないって同僚議員も言つたりするので。

あ 滋賀県内の市民派議員さんのつながりがあつたらいいですね。

振 議員同士のつながりも大事ですけど、議員という立場をもらつていても不安なんですよ。やつてることが本場に皆さんのためになつてるとか。なので市民の皆さんもそういう議員が必要だと思われたらちよつと連絡を取ってもらつて。市民との基盤があると、例えば会派に所属しなくても自分なりに続けていくことができるんじゃないかな。安心できる。ぶれない気がします。

ていく体験をしました。国政にはなかなか声が届きにくいかもしれないけど、市町という小さな地方自治から何か変化を起こせるのではないかと。

今までやってた身近なこと…いつも川遊びしていた川のゴミ拾いを年に一度すること。乳幼児連れのママにゆっくりしてもらえるコミュニティカフェを続けていること。そこを給水スポットとして登録したこと。毎日の食事作りに使う食材は持続可能なものを選ぶこと。お腹が空いている人には食事を提供すること。できるだけ化学物質は避けて石けんを使うこと。

もしかしら、小さく思える日常の困りごとを解決しようと、無意識に近い感覚でしていたことが、実は政治と直結しているのではないかと?足元から、小さな事に取り組むことに大きな意味があるのではないかと?考えるようになりました。

私も市政に声を届ける人になりたい。今はそう考えています。

なくなり、県庁や市に、個人の選択が尊重されるよう直接要望を出しに行きましたが、対応する方は上からの通達を疑うことなく従っているばかりという印象で、驚きました。この国の何かがおかしい。

それまでも政治に関心がなかったわけではなく、でも政治といえどどちらかという国政のこと。ネットニュースや新聞を見て、家族や友人と話したり、質問にきちんと答えられない国会中継にイライラしたり。手の届かないもどかしさがいつもありました。

そんな中、また別の話題で市議会議員の方に相談をしようと、議会で質問をして下さることになりました。ママ友と初めて自分の住む市の議会中継をネットで見、赤ちゃん連れで委員会の傍聴に行き…市議会議員ってこんな仕事をしてたんだ!議場ってこんなだったんだ!と初めて政治が身近なものになつ

暮らしのコラム

政治とくらし、私の決意

うえた さわ 上田 佐和 守山駅近コミュニティースペース「ほっとカフェ」スタッフ、4児の母

現在、五類に変更予定の新型コロナウイルス感染症。そのコロナ禍も2年目に入ると、様々な困りごとを耳にするようになりました。マスク着用で頭痛や肌荒れのある子に対して「マスク絶対」の子がマスク警察になり、不登校になる子もいました。また、ワクチンの予約をしないと、職場で自分の知らない間に名前が公表されたり…この様な話を聞くにつれ、いてもたってもいられ